＼ 学校の費用負担 0円・先生の準備は数時間 ／

# 探究の授業づくりから進路指導まで、ひとつのシステムで。

「総合的な探究の時間」専用プラットフォーム

## MoonShot サービス概要

高等学校向け　2026年10月版　｜　株式会社MoonJapan

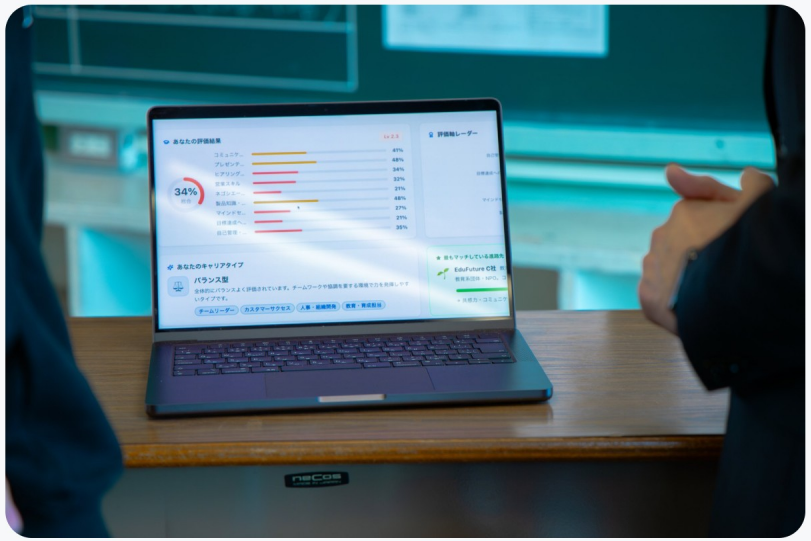


MoonShotとは

# 授業の設定・実施・評価・進路指導を、ひとつのシステムで完結

指導書・投影資料・ワークシートはすべてMoonJapanが用意します。先生は指導書を読んでそのまま授業ができ、授業のたびに貯まる生徒のデータは、そのまま進路指導に使えます。

- 指導書・投影資料・ワークシートが一式そろう
- 1コマから1年間まで、年間計画に合わせて使える
- 授業のたびに生徒の非認知能力のデータが貯まる
- 進路面談・志望理由書・校内選考にそのまま使える



学校の費用負担
**0円**

先生の実務時間（18授業の場合）
**85%削減**

測定する非認知能力
**約200項目**

背景

# 「探究の時間」に求められていること

2022年度から

## 高校で「総合的な探究の時間」が必修化

**文部科学省が示す探究の定義**

実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習活動

出典：令和5年3月 文部科学省「今求められる力を高める総合的な探究の時間の展開」p.24

**探究学習で求められる4つの過程**

01 **課題の設定**
体験活動などを通して、課題を設定しつつ課題意識を持つ

02 **情報の収集**
必要な情報を取り出したり、収集したりする

03 **整理・分析**
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する

04 **まとめ・表現**
気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

学校現場でよく伺うこと

# 「探究をやりたい」のに、時間と材料が足りない




**テーマ**

社会とつながる「本物の問い」を、毎年用意し続けるのが難しい

**教材**

指導案・投影資料・ワークシートを、担当の先生がゼロからつくっている

**評価・進路**

授業中の生徒の変化が記録に残らず、評価や進路指導に活かしきれない

MoonShotの全体像

# つくる・やる・のこす、そしていかす

### STEP 01
## つくる
**授業設定**

- パッケージ／1コマ単位で登録
- 学年・学科・人数に合わせる
- 企業テーマの探究も選べる

### STEP 02
## やる
**授業実施**

- 指導書・投影資料・ワークシート
- 先生はそのまま授業ができる
- 授業中の反応をその場で集める

### STEP 03
## のこす
**評価・データ**

- 授業後アンケートと成果物を記録
- 自己・他者・AIのルーブリック評価
- 先生の音声メモも生徒ごとに蓄積

### STEP 04
## いかす
**進路指導**

- 非認知能力を約200項目で可視化
- 1年間の変化量で生徒を見る
- 進学・就職の面談と書類に活用

**探究の5ステップ：⓪ 自己分析 → ① 課題の設定 → ② 情報の収集 → ③ 整理・分析 → ④ まとめ・表現**

※ 文科省の4過程に「自己分析」を加えて設計

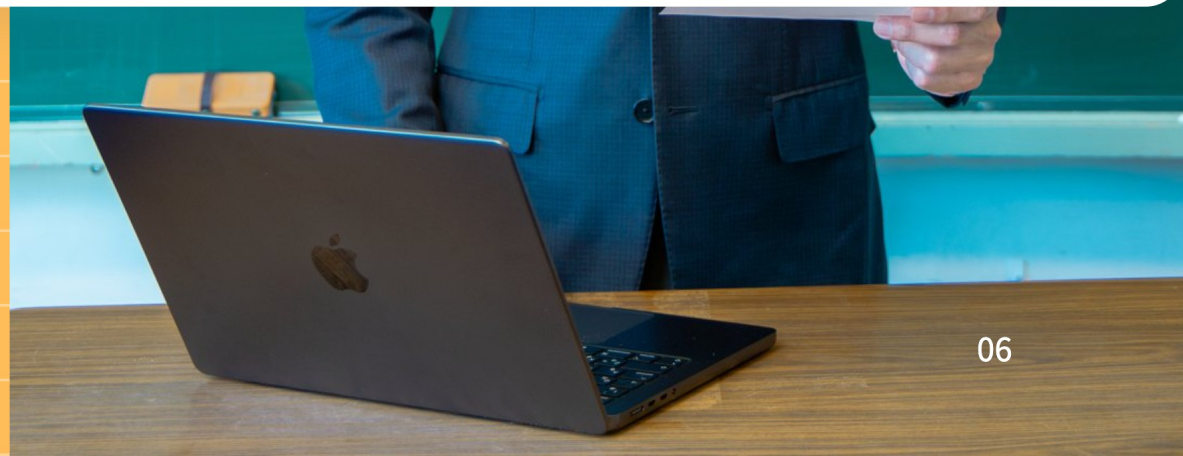


STEP 01

# 授業設定

つくる

授業の登録　／　年間計画への組み込み　／　授業コンテンツ　／　企業と一緒につくる探究



授業設定 ｜ 授業の登録

# パッケージから選ぶ、または1コマから組み立てる

年度初め・学期初めの長期設定にも、「3コマだけ時間が余った」という急な予定にも対応できます。

### パッケージから選ぶ

**3ヶ月〜学期・学年単位の長期設定に**

自己分析から発表までを通した回数別のパッケージ。年間指導計画にそのまま組み込めます。

### 個別に組み立てる

**1コマから、授業を自由に組み合わせ**

学年・学科・生徒数の単位で設計。急に探究の授業が入ったときにも、その場で選べます。

- **難易度は3段階**
- **ゼミ〜学年一斉まで**




授業登録の画面（先生用）

※ 企業連携パッケージは実施人数に限りがあるため、抽選で開催校を決定する場合があります。複数の授業へのお申し込みをおすすめしています。

授業設定 ｜ 年間計画

# 年間計画のどこにでも組み込める

1日だけ・3回だけ・1学期・1年間。学校の年間指導計画に合わせて、入れる場所と回数を先生が決められます。




**例：3回だけ**

4月・6月・7月に1コマずつ。自己分析だけを先に済ませる使い方

**例：1学期だけ**

2学期にまとめて導入。課題の設定から発表までを一巡する

**例：1年間**

年度を通して蓄積し、1年間の変化量を進路指導に活かす

# 自己分析から発表まで、選んで組める授業コンテンツ

5つのフェーズ（自己分析＋探究の4過程）それぞれにワークショップを用意。地域や学校に合わせたカスタムもできます。

### 各授業にそろっているもの

- 先生用の指導書（50分の進行つき）
- 投影資料
- 生徒用ワークシート
- 授業後アンケート（7問）

### 課題の設定〜整理・分析

地域の課題や企業・団体と連携したテーマを扱います。分析の授業では、時系列整理・グラフ化・KJ法・SWOT・ロジックツリーなど16種類の手法から生徒が自分で選びます。



自己分析
「価値観カードゲーム」



自己分析
「テーマワンダリングマップ」



自己分析
「SWOT分析」



まとめ・表現
「ポスターセッション」



まとめ・表現
「プレゼンテーション」



まとめ・表現
「レポート作成」

自己分析 → 課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・表現

授業設定 ｜ MoonShot パートナープログラム

# 企業がいま向き合っている問いを、そのまま探究のテーマに

**STEP 1**

**6業界の企業コンテンツ**

1業界1社。業界が偏らない構成

**STEP 2**

**学校が3つを選定**

学校の方針に合うテーマを先生が選ぶ

**STEP 3**

**生徒が1つを選ぶ**

自分の関心で選ぶから、自分ごとになる

**対象6業界**

ファッション・ライフスタイル　ヘルスケア　デジタル・AI・通信

食・農業・栄養　エネルギー　エンタメ・メディア・IP

初期パートナー：メディパルホールディングス（ヘルスケア）。残る業界は順次発表します。

企業の事業内容・社会課題への取り組み・社員の仕事は扱います。商品の購入を促す課題や、宣伝させる課題は行いません。

**実施の条件（2027年度）**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 学校の費用負担 | 0円 |
| 先生の事前準備 | 数時間（事前研修なし） |
| 実施規模 | 20名から。1学年一斉も可 |
| 授業コマ数 | 標準10コマ（調整可） |
| 対象 | 中1〜高3（高校生中心） |
| 実施時期 | 2027年4〜5月から |
| 募集 | 100校限定・締切 2026年12月31日 |

応募多数の場合は抽選、または枠の拡大を検討します。

プログラム例 ｜ メディパルホールディングス（ヘルスケア）

# 腸内細菌を活用したサービス・商品を提案しよう




### テーマの考え方

健康一般ではなく、生活習慣病など身近なテーマに焦点を当てた課題設定。医薬品卸の現場の一次情報に触れながら、生徒が自分の提案をつくります。

### 12回の授業の流れ（例）

| 回 | 内容 |
|---|---|
| 第1回 | 腸内細菌と自己の関係を知ろう |
| 第2回 | 興味を深掘ろう　～気になることを見つけよう～ |
| 第3回 | イメージしよう |
| 第4回 | サブテーマを設定しよう |
| 第5回 | 探究結果を書こう |
| 第6～9回 | 仮説検証 |
| 第10回 | ピッチの極意 |
| 第11回 | 探究成果発表会 |
| 第12回 | 振り返り |

※ 回数・内容は学校の年間計画に合わせて調整できます。



STEP 02

# 授業実施

やる

授業当日の進め方　／　授業中の反応と連絡　／　先生の実務時間の変化



授業実施 ｜ 当日の進め方

# 指導書を読んで、そのまま授業

先生の事前準備は4つだけ。事前研修はありません。当日は投影資料を映し、必要に応じてワークシートを印刷して、指導書どおりに進めます。

## 先生の事前準備

1. **学校側でシステムに登録する**
2. **事前に指導書を読む**
3. **当日使う投影資料・ワークシートを確認する**
4. **事前ブリーフィング（1時間）**

**生徒の負担も最小限**

授業後は7問のアンケートと、ワークシートの写真提出のみ。生徒の画面に出るのは投影資料とワークシートの2つです。



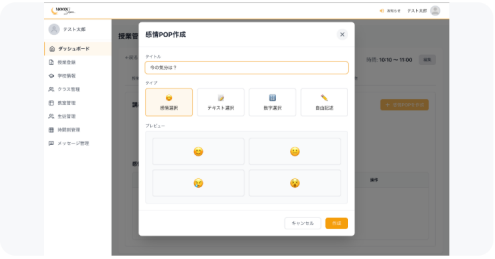

授業管理ページ（先生用）。資料・ワークシート・指導書のほか、講師派遣・生徒評価・提出物もここで管理します

# その場で集め、その場で相談できる

## リアルタイムの反応

### 生徒の意欲・集中度・いまの気持ちを、授業中に集める

絵文字・テキスト選択・数字選択・自由記述から選んで出題。テスト形式で使えば、定着度の確認にも使えます。



先生用画面



生徒用画面

## チャット

### 運営・外部講師との連絡も、クラス内のやりとりもひとつの画面で

ほかの画面を操作しながらチャットを続けられるため、授業登録中に困ったときは運営に相談しながら進められ、投影中もクラス内の発言を確認できます。



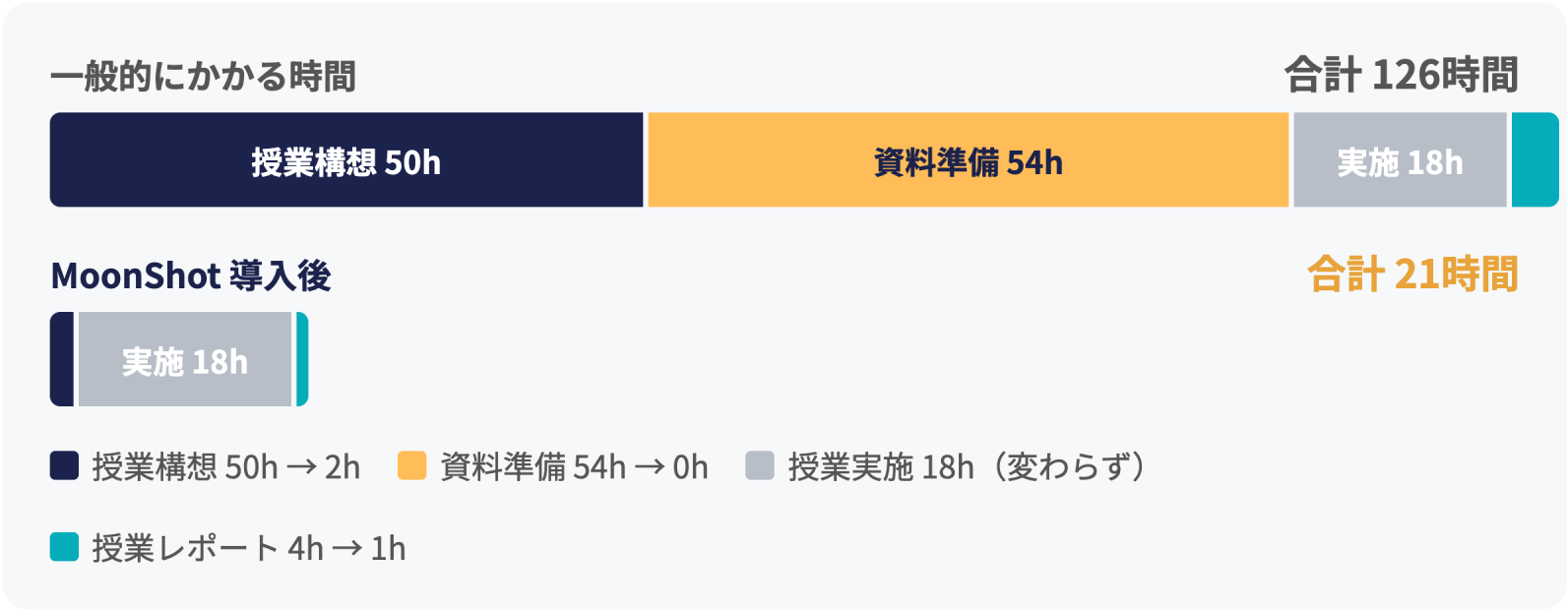

チャットモード（先生用画面）

**集めた反応はそのまま記録に残り、評価と進路指導に接続されます。**

授業実施 ｜ 先生の実務時間（18授業の場合）

# 授業の構想と資料づくりの時間が、ほぼゼロに

授業そのものと、生徒と向き合う時間が残ります。




実務削減

**85%**

最大 90%

空いた時間は、生徒と向き合う時間や、ほかの業務に戻ります。

※ 自社算定値。削減幅は学校の運用によって変動します。



STEP 03・04

# 評価・進路指導

のこす・いかす

貯まるデータ ／ 7つの評価軸 ／ 先生のユースケース ／ 1年間の流れ ／ 進学・就職への接続 ／ 導入校の実例 ／ 生徒の変化



評価 ｜ 授業のたびに貯まるデータ

# ひとつの力を、3方向から測る

自己申告・第三者・成果物の3方向から集め、ルーブリックで基準をそろえて評価します。最短1回の授業で現状値が測れ、以降は変化を追えます。

| | | |
|---|---|---|
| 自己申告 | **生徒自身のアンケート** | 毎授業7問。評価軸を測るよう設計された設問 |
| 第三者 | **先生の音声フィードバック** | 「今日のこの生徒はこんな感じだった」を音声でそのまま記録 |
| 第三者 | **ピアフィードバック** | 生徒どうしの相互評価 |
| 成果物 | **ワークシート・発表などのアウトプット** | 写真で提出。各フェーズの成果物をAIがルーブリックで評価 |
| 第三者 | **外部評価者** | 授業に入る企業・自治体・外部講師の視点 |

集まったデータから

## 7軸 × 約200項目

**生徒の非認知能力を可視化**

自己評価・他者評価・AI評価を集計。評価のルーブリックは先生にもお渡しします。

評価 ｜ 7つの評価軸

# 成績では見えない力を、7つの軸で見る

約200項目を7つの軸に整理。元教員が設計したアルゴリズムで、「君はここに向いている」という先生の感覚を言葉とデータにします。

**A パーソナリティ**

**B 基盤的な能力**

**C 操作的な能力**

**D 熱量の変化**

**E 現場の適応力**

**F キャリアの適応力**

**G 社会的望ましさ**

**見るのは「変化量」**
初回の値ではなく、1年間でどう伸びたか

- 転校・クラス替え・担任交代があっても、データは生徒に追随します
- 生年月日と同姓同名で重複の可能性があれば、先生にアラートが出ます
- 定量データ（模試・出席）を扱う学習支援サービスとは競合せず、組み合わせて使えます




**生徒のマイページ**

生徒自身も、自分の変化をレーダーで確認できます。「見られている」ではなく「自分で見る」データです。

進路指導 ｜ 先生のユースケース

# 貯まったデータは、こんな場面で使えます

### 進路面談の準備

面談の前に、生徒の7軸と先生の音声メモを見返す。「何を聞くか」が決まった状態で面談に入れます。

**使うもの：評価軸・音声メモ**

### 三者面談・保護者への説明

成績以外の成長を、授業の記録と成果物で具体的に伝えられます。「最近こう変わった」に根拠がつきます。

**使うもの：変化量・成果物**

### 総合型選抜・推薦の書類

授業で立てた問い・成果物・評価を、志望理由書や活動報告の素材に。面接で語れる経験が残ります。

**使うもの：問い・成果物・評価**

### 就職の校内選考

非認知能力のデータを、校内選考の根拠のひとつに。鳴門渦潮高校の校内選考会で実際に使われています。

**使うもの：評価軸・変化量**

### 担任の引き継ぎ・進級

データは生徒に追随するので、クラス替えや担任交代のあとも、前年の様子から指導を始められます。

**使うもの：生徒ごとの記録**

### 探究の評価・所見

ルーブリック評価と授業ごとの記録をもとに、探究の評価や所見の下書きをつくれます。

**使うもの：ルーブリック・記録**

**どの場面でも、先生が新しく入力する作業はありません。授業をやるだけで、材料がそろいます。**

進路指導 ｜ 1年間の流れ

# 4月の1回目から、進路面談まで

最短1回の授業で現状値が取れます。あとは授業を重ねるほど、変化量が見えてきます。

**4月**

### 初回の授業で現状値

自己分析の授業と7問のアンケートで、生徒ごとの出発点が記録されます。

**1学期**

### 授業のたびに記録

アンケート・成果物・ピア評価・先生の音声メモが、生徒ごとに貯まっていきます。

**2学期**

### 変化量が見えてくる

初回との差分で、伸びた軸・停滞している軸が分かります。中間の面談の材料に。

**12月〜1月**

### 進路面談・書類づくり

7軸と記録をもとに面談。志望理由書・活動報告・校内選考の根拠に使います。

**3月**

### 次年度へ引き継ぎ

データは生徒に追随。新しい担任は前年の記録から始められ、3年間の変化を追えます。

1学期だけ・3回だけの導入でも、現状値と変化の記録は残ります。

在学中の生徒データを、企業に提供することはありません。

進路指導 ｜ 進学・就職への接続

# 履歴書に書けない力を、根拠のある言葉に

## 進学

**総合型選抜・学校推薦型の準備に**

- 授業で立てた問いと成果物が、志望理由書・活動報告の素材になる
- 7軸の評価と変化量が、面接で語る「自分の強み」の根拠になる

## 就職

**校内選考から、企業とのマッチングまで**

- 高卒就職は学校を通し、1人1社制で進む。だから校内選考の根拠が要る
- 部活の印象だけに頼らず、非認知能力のデータで本質的なマッチングを目指す

**4.12倍**
高卒求人倍率

**37.9%**
3年以内離職率

求人はあるのに、3人に1人が3年以内に離職。だからこそ、入口のマッチングの質が問われます。
出典：厚生労働省（令和8年3月卒 3月末時点／令和4年3月卒）

在学中の生徒データを企業に提供することはありません。企業への開示は、就職後に生徒本人の同意がある場合のみ、配属やチームづくりに役立てる形で行います。

導入校の実例 ｜ 徳島県立鳴門渦潮高等学校

# 校内選考会で、300人分の探究データを活用



興企業の成長支援

鳴門市が認定制度創設

は17日、市内に進
業を始めるスター
い、新年度からは市内の全
（新興企業）を認
中学・高校を対象に行う。
援する制度「なる
同日、同社の藤田岳代表
創設した。地元の
(20)が泉理彦市長を訪問
公共団体を紹介し
し、「教員が一方的に教え
ソーキング（協働）
る受動的な教育から、アー
の使用料を補助し
ティストやITの起業家、
スタートアップ
地域住民らと社会を改革す
入を手助けする。
る能動的な教育に変えた
の認定を受けたの
い」などと展望を語った。
nJapan（東
認定を受けた企業は、専
任は2024年2
用のロゴマークを使用でき
し、中高生にアン
るほか、市が広報誌やケー
ーシップ（起業
ブルテレビ「テレビ鳴門」
教育サービスを提
などで事業内容を発信す
る。鳴門高校（鳴
る。藤瀬蔵商工政策課長は
「鳴門に進出したいという
企業は他にも複数ある。四
国随一のスタートアップが
集まるまちを目指
い支援体制を構
く」と話した。

**2026**
年度から探究授業を支援

**300人分**
校内選考会で活用したデータ

### どう使われたか

- 校内選考会（人気企業への応募者を校内で選ぶ場）で、探究授業のデータを判断材料のひとつに
- セキュリティ配慮のため、評価軸の一部（大分類ひとつ）だけで運用。それでも選考の実務に使えた
- 先生の反応は良好。残りの評価軸を使えるようになれば、見える情報はさらに増える

☆ MoonJapanは鳴門市応援スタートアップ制度「なるスタ」の第1号認定企業（2025年2月）。鳴門市に支店を置いて伴走しています。

生徒の変化

# 自ら将来を考え、自分の目線を持つ生徒へ



導入前によく見られる姿

- やりたいことが見つからない、ぼんやりしている
- 将来に漠然とした不安がある
- 何から始めたらよいか分からない
- 自分にはスキルがないと思っている
- 学校以外の大人を知らない



MoonShot 導入後

- できることの視野と可能性が広がる
- 目標を持って、普段の勉学に向かえる
- 目標に向けて行動する手順が分かる
- 課題設定・調査など、社会で必要な力が身につく
- 学校以外の大人の生き方を知る

**視座は押しつけません。生徒が自分の目線を持つところまでを設計しています。**

生徒の変化 ｜ 授業の中で起きること（例）

# 「好きなことがない」から、自分の提案を発表するまで



**自己分析の授業で**

「好きなことも、やりたいこともない」

⬇

**価値観カードゲームで、自分が大事にしていることを言葉にする。「人と話すのが好き」「理不尽が嫌い」が出発点になる**



**課題設定〜分析の授業で**

「調べて、まとめて、終わり」

⬇

**企業や地域の本物の問いに仮説を立て、16の分析手法から自分で選ぶ。「自分の意見」に根拠がつく**



**発表の授業で**

「人前で話すのは苦手」

⬇

**ポスターセッションやピッチで自分の提案を発表する。面接や志望理由書で語れる「自分の経験」になる**

この変化は感覚ではなく、初回と最終回の7軸の差分として記録に残ります。30人全員に同じ授業が刺さる必要はありません。授業のパーツごとに「3人に刺さる」内容を積み、結果として全員に届く設計です。

参加した生徒・保護者・先生の声

# 「ちゃんと自分や他者との対話で学べることが多くあった」

思っていたより固くなりすぎない雰囲気で楽しかった。でもふわふわするのではなくて、ちゃんと自分や他者との対話で学べることが多くあって、充実してた。

**参加した高校生**

キヤノンマーケティングジャパン様との探究プログラム（2026年3月）

今回は、このプログラムに参加でき、親子共々、大変良かった！と、感じております。

**参加した生徒の保護者**

キヤノンマーケティングジャパン様との探究プログラム（2026年3月）

サポートAIと指導書で学校側が完結できるため、毎週授業を実施している導入校からの問い合わせは、ほとんどありません。

**導入校での運用から**

岡山（真庭）・徳島（鳴門）・静岡（御殿場）の公立校

導入校（岡山県真庭市）で実施した生徒アンケートの結果と自由記述は、ご要望に応じてお見せします。

実際の授業の様子

# 自己分析から発表まで、教室で起きていること



**自己分析**

価値観カードやワークで、自分のことを言葉にする



**課題設定・調査**

付箋とワークシートで情報を整理・分析



**事業計画**

グループで仮説を立て、提案の形にまとめる



**プレゼンテーション**

自分の答えを提案として発表するところまで

**現在も毎週、複数の公立高校で授業を実施中。偏差値や進路の傾向にかかわらず、誰でも進められる授業を3年間かけてつくってきました。**

導入から実施までの流れ

# アカウント発行から初回の授業登録まで、数分

年度や学期の切れ目に設定し直すだけで、先生の異動があっても続けられます。

STEP 1
**アカウント発行**
学校・先生のアカウントを発行

STEP 2
**授業選択**
パッケージまたは個別に、日程・場所を指定

STEP 3
**資料ダウンロード**
指導書・投影資料・ワークシートをPDFで

STEP 4
**授業実施**
当日資料に従って授業を進める

STEP 5
**振り返り**
生徒のアンケートと提出物を評価

STEP 6
**次年度の設定**
データは引き継がれ、変化量が見える

外部メンターを呼びたいときは、授業選択（STEP 2）の段階で派遣を募集します。企業の社員や専門家が授業に関わります（別途費用）。

操作手順はオンラインマニュアルにまとめています。
moon-shot.click/manual

※ 人数の限られたプログラムの場合、抽選で実施校を決定することがあります。

費用と実施条件

# 学校の費用負担は0円。先生の負担は数時間

**学校の費用負担**

**0円**

公立・私立を問わず、システムの利用料・教材費はかかりません。

費用は、探究のテーマを提供する企業パートナーにご負担いただく仕組みです。学校の負担をできるだけ減らし、どの学校でも始められるようにしています。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 先生の負担 | 数時間レベル（実施する授業により前後します） |
| 事前研修 | なし。指導書・資料の確認と1時間のブリーフィングのみ |
| 最低実施人数 | 20名から。1学年全体での一斉実施も可能 |
| 対象 | 中学1年〜高校3年（高校生中心） |
| 必要な環境 | 投影できる教室。生徒の端末はアンケートと写真提出に使用 |
| 外部メンター派遣 | 希望時のみ。別途費用 |

▷ お申し込みは専用フォームから。企業パートナープログラム（2027年度）は100校限定、応募締切は2026年12月31日です。

実績と第三者からの評価

# 自治体・学校での実績と、国・メディアからの評価

**3校**

**実導入 3校・3拠点で毎週授業を実施**

岡山（真庭）・徳島（鳴門）・静岡（御殿場）。すべて公立校

**岡山県真庭市　令和6年度から本格導入**

高校1年生を対象に、生徒が0から1のビジネスをつくるプログラムを自治体と設計

**徳島県立鳴門渦潮高等学校　2026年度から探究授業を支援**

鳴門市応援スタートアップ制度「なるスタ」第1号認定企業（2025年2月）

**提携・連携**

キヤノンマーケティングジャパン（高卒採用領域で基本合意）／ジンジブ／東武トップツアーズ

文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使

**文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使（代表2名が任命）**




**Forbes JAPAN NEXT 100 選出**

AERA「次の未来を描き出す30人」選出

メディア掲載

Forbes JAPAN / YAHOO! JAPAN ニュース / 日本経済新聞 / 山陽新聞社 / 徳島新聞 Tokushima Shimbun / 経済を、もっとおもしろく。NEWS PICKS

# 株式会社MoonJapan

Mission

**一世紀後のありがとうを**

Vision

**わくわく∞**

私たちは、ワクワクの、インフラになる。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 代表 | 代表取締役 Co-CEO　藤田 岳 |
| 事業内容 | 探究教育プラットフォーム「MoonShot」、探究データを活かした進路支援「MoonCareer」 |
| 設立 | 2024年2月7日 |
| 拠点 | 本社：東京都豊島区要町3-4-6　／　支店：徳島県鳴門市撫養町南浜東浜651番地 |
| 主要株主 | mint、Setouchi Startups、鈴木健吾、真鍋康正、橋田一秀、森健志郎、安倉知弘、岡田陽介、大南洋右 ほか |
| 累計資金調達額 | 4,900万円 |
| 社員数 | 6名（業務委託を含む） |
| 提携・連携 | キヤノンマーケティングジャパン株式会社（高卒採用領域で基本合意）、株式会社ジンジブ、東武トップツアーズ株式会社 |
| Web | https://www.moon-japan.com/ |

役員紹介

# 文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使の2人が共同代表



代表取締役 Co-CEO

## 藤田 岳

早稲田大学 国際教養学部。高校時代をカナダで過ごし、高校2年生でアパレルブランドを設立。「日本中がワクワクに満ち溢れる世界」をつくるには、まず教育からワクワクを作る必要があると痛感し、2024年2月に株式会社MoonJapanを共同創業。

**文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使／Forbes JAPAN NEXT 100／AERA「次の未来を描き出す30人」**



取締役 Co-CEO

## 今井 智紀

慶應義塾大学 環境情報学部。高校2年生で株式会社Ligulaを創業し、同世代の起業家コミュニティの立ち上げやメディア運営、ブランディングなど複数の新規事業を手がける。2022年、株式会社ユーグレナ Futureサミットメンバー。岡山県笠岡市地域おこし協力隊インターン生に史上最年少で就任。

**2025年 文部科学省 アントレプレナーシップ推進大使 拝命**

**教育を一人や一社で変えられるとは思っていません。「共に」を大切にし、自分たちが生きていないかもしれない100年後に「ありがとう」と言える未来をつくります。**

やりたいことが、明確ではない。

見えている世界も、まだまだ狭い。

そんな高校生にも、抱えているものがあります。

日常への見過ごせない違和感。

自分が変えるんだという衝動。

好きなことへの圧倒的な熱量。

**探究の時間は、それを形にする場所。**
**先生と一緒に、つくらせてください。**

**まずは30分、お話しさせてください**

**株式会社MoonJapan**

info@moon-japan.com

https://www.moon-japan.com/

MoonShot マニュアル

moon-shot.click/manual

**一世紀後のありがとうを**